



健康支援と社会保障④ 看護をめぐる法と制度

ムービータイトル	サムネイル	サマリー	教科書該当箇所
法律の読み方 (5分59秒)		基本的な法律名の示し方、法律全体の構造(本則と附則、条・項・号などのルール)、条文の削除と追加のルールなどについて、保健師助産師看護師法を例にとり解説している。	目次
看護師の特定行為 (5分32秒)		医師・歯科医師があらかじめ作成した「手順書」に基づき、看護師が行う「特定行為(診療の補助)」。その内容をだまかに説明する。	3章 人に関する法律 ■ 1 医療専門職 1 保健師助産師看護師法
歯科診療の補助で できること (1分28秒)		歯科診療において、歯科衛生士が行える補助の範囲内のもの、範囲外のものを紹介する。	3章 人に関する法律 ■ 1 医療専門職 14 歯科衛生士法
玉音放送 (4分49秒)		ラジオで実際に放送された音声(昭和天皇の肉声)を紹介する。	5章 支えるシステムに関する法律 ■ 2 特別な配慮を必要とする人に関する法律 6 戦傷病者特別援護法/原爆被爆者援護法
さまざまな虐待と その通報 (5分31秒)		児童、高齢者、障害者、配偶者等が被る虐待(暴力)について、それぞれに対応した法制度を紹介する。また、医療従事者の各機関への通報義務について、守秘義務との関係も交えて解説する。	5章 支えるシステムに関する法律 ■ 2 特別な配慮を必要とする人に関する法律 14 障害者虐待防止法 20 児童虐待防止法
感染性廃棄物の処理 (1分54秒)		血液や体液、分泌物が付着したものは、すべて感染性廃棄物として処理しなければならない。赤・オレンジ・黄色のバイオハザードマークの意味を知っておこう。	6章 政策に関わる基本法等の関連法令 ■ 10 環境政策に関する法律 3 生活環境を保全するための法(環境衛生や関連営業の衛生)
医療過誤の事例と 法的責任 (7分42秒)		1999(平成11)年に起こった都立広尾病院事件(抗凝固薬と消毒薬の取り違えによる患者の死亡事件)を紹介し、看護師の取りうる法的責任(刑事責任、民事責任、行政上の責任)について解説する。	8章 看護過誤(医療過誤) ■ 2 三つの法的責任 1 刑事責任